

地域における家庭教育支援基盤構築事業「家庭教育支援研究協議会」

令和4年9月14日(水)に地域における家庭教育支援基盤構築事業「家庭教育支援研究協議会」をオンラインで実施しました。本事業は、家庭教育支援者や市町教育委員会職員等を対象に、家庭教育支援チーム設置の重要性について理解を深めるとともに、事例発表や協議を通して、管内の家庭教育支援活動の一層の充実を目指すものです。当日は、家庭教育サポート企業の代表として株式会社データベースタ張事業所所長の澤井 俊和様、砂川市家庭教育支援チームの坪江 利香様の2名の方から事例発表をしていただきました。

【株式会社データベースタ張事業所所長 澤井 俊和 様の事例発表より】

【取組の概要】

・夕張市のNPO団体「ゆうばり再生市民会議」へ協力し、子どもたちのキャリア発達支援を目的とした「科学実験」や「ワークショップ」を計画・開催しています。

【取組のきっかけ】

・夕張市の財政破綻に伴い、市民サービスに関する課題が山積しており、こうした夕張市においても子どもたちが「夢」を持ち、小中学生期という貴重な体験期で様々な経験をし、次世代の育成に貢献したいとの思いがあり、科学をテーマとしたワークショップに取り組みました。

【他団体との連携】

①国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)との連携【発表スライド①参照】

②夕張市教育委員会との連携【発表スライド②、③参照】

コスミックカレッジ 【発表スライド①】

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) との協力

- 宇宙テーマとしたワークショップ開催が可能となった。
- JAXA宇宙教育推進室の教材や人的支援が得られた。
- 他のコスミックカレッジ主催者との協力による運営支援が得られた。
- 運営のノウハウの習得ができた。
- 夕張市、夕張市教育委員会との協力体制ができた。



ゆうばり Challenge!! サイエンス部 【発表スライド②】

夕張市教育委員会との協力

- 夕張市教育委員会との協力により開催。
- コスミックカレッジでの経験を生かし、オリジナル教材を活用。
- 事業活動や経費運営、会場及び教材費に夕張市教育委員会にご協力いただきました。

ゆうばり Challenge!! サイエンス部 【発表スライド③】

教材の制作 (スボーク飲料の電気分解と燃料電池の実験リハーサル)



【まとめ】

・学校では教わらないような体験を通じて、子どもたちに科学を身近に感じてもらえる企画を考えています。

・事業を通して、『好奇心・チャレンジ精神』『発想の転換、創意工夫による目標達成』『夢を持ち続ける心、夢を形にする行動力』の3つの力を身に付けてほしいと願い取り組んでいます。

【砂川市家庭教育支援チーム 坪江 利香 様の事例発表より】

・子どもから大人まで楽しめるゲームをして交流できる「アナログゲームクラブ」を実施。【発表スライド①、②参照】

アナログゲームで大事にしていきたいこと 【発表スライド①】

- 子どもから大人まで楽しめるゲーム
- 家でできるゲーム
- 楽しみながら学べるゲーム
- 違う学校の友達と
- 教える ではなく自分を楽しむ

参加者の声

- 人見知りの子も楽しく遊んでいました
- どのゲームを次にするか、ゲームの中のやり取りの中に、必ずしもいやいややりのある苦戦も多く感じます。
- アナログならではの対人ゲームの心を育てる場にもつながっていることが、とても魅力であると思います。
- いろいろなゲームで遊べるのがありがたいです

砂川市家庭教育支援チーム 【発表スライド②】

- 子育てひろば 一月一講座 主に支援センター保育士による親子参加プログラム
- リフレッシュセミナー ママのための託児付きセミナー パランスボール、ヨガ、小物づくり、寄せ植え
- いきいき家庭セミナー 一斉小学校で実施




空知 de 家読 (うちどく) バトンリレー

「株式会社藤岡建設

代表取締役社長 藤岡 靖士 さん」のオススメ本

【オススメしたい段階】

「てぶくろ」(ウクライナ民話)
イラスト：エウゲーニー・M・ラチョフ
翻訳：うちだ りさこ
(出版社：福音館書店)

| | |
|----------------|-----------------|
| ○ 乳幼児期 (0歳～6歳) | ○ 小学生期 (6歳～12歳) |
| 中学生期 (12歳～15歳) | 高校生期 (15歳～18歳) |
| 大人・保護者 | |



この本は、ウクライナ民話をもとにした絵本であり、小さな子どもにとって、とても想像力をかき立てられる物語です。人間界も多種多様であり、見かけや性格にかかわらず、誰に対しても等しく親切に、仲良くすることは大切なことです。そのことは、「いじめ」の防止に繋がることと考えています。

この本を読むことで、どのように感じるかは人それぞれですが、誰にでも優しくできる寛大な心が育まれるのではと思います。ウクライナが戦争の渦中にあることが残念です。ウクライナの平和を願って、この本をお薦めいたします。

「株式会社藤岡建設」はこんな会社です！

公共土木工事請負を主たる事業とする建設会社。1946年に現・北竜町にて創業。人手不足時代にある今日「ワークライフバランスの充実」を主要経営課題と位置付け、さらなる発展を目指しています。

「家庭教育サポート企業」としては、家庭教育に関する資料等を掲示し、正しい知識を社員に啓発するなど社内の子育て環境づくりを推進しています。



住所：北竜町字和 19 番地の 7
電話番号：(0164) 34-2231

「家庭教育サポート企業」募集中！

北海道教育委員会では、「家庭教育サポート企業」として協定を締結する企業を随時募集しています。

皆様の周囲で本制度に関心のある企業等の方がいましたら、下記の連絡先までお知らせください。

【発行元】北海道教育庁空知教育局教育支援課社会教育指導班 (担当：石川)

電話：0126-20-0139

メール：ishikawa.kiwamu@pref.hokkaido.lg.jp

